

フツと、ヤクザの足を洗つてみたが……

親子三人、2DKの愛情は、俺の棲み家になるだろうか。



金子正次  
永島暎子  
北 公次  
佐藤金造  
小川亜佐美  
泉 アキ  
菊地健二  
も も  
銀粉蝶  
土方鉄人  
壇 唯太  
岩尾正隆  
大塚五郎  
高橋 明

製作/ PRODUCTION RYUJI  
配給/ 東映セントラルフィルム

*Ryuji*



川島透 第一回監督作品

どっちつかずの半端者。そう言われてもオレには違ひ世界がね。

# 竜二

企画・大石忠敏 / 脚本・鈴木明夫 / 演出・川島透 / 監修・橋本良一 / 美術・小池直実 / 製作協力・岡里健司 / 主題曲「ララバイ」唄・筑紫あや / 出演者「大友柳太朗」  
スチール・橋本洋典 / 録音・三船プロダクション / 音楽・新藤兼人

# 竜二

製作/PRODUCTION RYUJI 配給/東映セントラルフィルム (カラー作品)



## 解説

ル・ビリエ・ブルチネラなどの小劇場を根城に演劇公演をつづけてきた金子正次が、しばらく演劇から離れ、そのエネルギーをたくわえて仕上げた35ミリの意欲作である。

主人公の花城竜二のなまえ「竜二」を題名にしたこの映画は、青春をすぎようとしている新宿のやくざ竜二が、金と出世欲だけで動くやくざに、ふとうとまじいものを感じ、やくざ社会の落ちこぼれとして堅気の人間になつて行くという、いわばやくざの内部から市民社会へと、恐怖の一步を踏出して行く物語である。

市民社会からやくざの世界へ入るのではなく、やくざの世界から、市民社会へとみ出して行く捉え方にこの作品の特色がある。竜二の所属する三東会の仲間、竜二が堅気になるという、拍手するほどの気持ちで送り出す。竜二が一人抜ければ、その下の仲間たちは出世できるのだ。きわめてリアルにやくざの生きざまを描いているところが、新しい80年代のやくざ映画の誕生を予感させる。

小劇場で数々の主役をこなしてきた金子正次の、映画俳優としての初主役作品だが、実は脚本も鈴木明夫のペンネームで自らが執筆している。というのも、金子正次が十代の執りから二十代にかけてのある時期、映画の舞台と同じ新宿を中心に、やくざの世界に触れたことがあるからだ。金子自身の経験をベースにしての、フィクションナルなドキュメンタリーの要素を持っているとも言えるだろう。そこがリアルにスクリーンをいろどる劇映画となっている。

金子正次を中心に、その女房役を好演するのが永島暎子、やくざのひろし役を、元フォリーブスの北公次が、芸能界へのカムバックを期して熱演。メジャーな感じにあふれた作品となっている。もちろん、独得なガッツとかけりの入り混ったマスクを持っている主人公金子正次の演技は、日本映画界の穴を埋めるどころか、新しいキャラクターの出現を見事にはたしており、80年代の決定的スター俳優の立上りをこの作品で見ることができ。

(上映時間 一時間三十分)

## 物語

花城竜二(金子正次)は新宿にシマを持つ三東会の常任幹事だった。いわゆるやくざの組の幹部である。新宿近辺のマンションに秘密のルーレット場を開き、舎弟の直(佐藤金造)と、ひろし(北公次)に仕切らせ、そのあがりて優雅にやくざ社会の中を泳ぎわたっている。やり手なのだ、竜二は。そういう器量さえあれば、ゼニはくさるほど転がりこんでくる。町で見かける幹部ふうなやくざの典型かもしれない。

その竜二も、三年前は、器量もなく、舎弟を連れて新宿をのし歩いていただけだった。イキがったり暴力を誇示した結果、竜二は拘留所に入れられた。妻のまり子(永島暎子)は当時生まれたばかりの娘を抱え、竜二の保釈金を工面するため九州の両親に泣きついた。両親はやくざの竜二と別れるならという条件で大金を出してくれた。

事情を知らないで無事保釈で出てきた竜二は、やがて怒り狂った。金策ができなかったことを土下座して詫げる直とひろしにも当り散らした。「やくざは、やつぱり金を持ってなきや駄目か」と、竜二はつぶやいた。そして妻とも別れた。妻の約束通りだ。

竜二の器量があがったのはそれからだ。幹部としての安定した生活がつづいた。が、いくら金を手に入れた妻への仕送りをしても、充たされないものが体の中を吹き抜けて行く。竜二はそして、新宿のある店の権利金をあげてのあらそいを兄貴筋の幹部から何とかしてくれと頼み込まれ、成功する。威丈高に應對する銀行員の前で、竜二が名刺を出そうとポケットに手を入れただけで、ハジキを出すのかと間違えられ、三千万の小切手を銀行員がその場で書き、一件落着になつてしまつたのだ。名刺がハジキに見えてしまうやくざ社会、竜二は今までの自分の生き方を、深く考えてみないわけにはゆかなかつた。

「金なんかいらねえ」と竜二は思った。器量のよさが何だとも思つた。竜二は、幹部や舎弟たちに感謝されながら、自から、堅気の世界へ、勇気をふるって踏込んでいった。

妻と娘と竜二との、ごくありふれた市民生活。酒屋の店員としてトラックで走りまわる毎日……

元やくざの花城竜二は、はたして堅気の暮らしをいつまでつづけて行くことができるか。娘や妻の眼差しをいつまで正面から受止めてやさしく暮して行くことができるか。

物語は、ある破局へと進んで行く……



## 主演はオマエでオレは監督

10年来のダチ公の友情が生んだ異色作!

金子正次 / 昭和24年12月19日生れ・愛媛県出身・松山聖陵高校

■内田栄一の主宰する東京ザットマンでル・ビリエなどの小劇場を根城に演劇活動。「美少女自動販売機」「昭和まぼろし花」に出演。「竜二」の脚本を執筆。映画初出演。

川島 透 / 昭和24年9月11日生れ・福岡県出身・県立福岡高校卒業

■10代の頃より8%、16%の実験映画多数を製作。20代にピンク映画等の助監督、PR映画、短編映画の監督をつとめる。「竜二」で念願の劇映画第一作を演出。

### キャスト

花城竜二	金子正次
花城まり子	水島暎子
(娘)あや	も
ひろし	北公次
直	佐藤金造
関谷	岩尾正美
(妻)まゆみ	小川亜佐美
柴田	菊地健二
あけみ	高橋粉蝶
酒屋店主	堀内正美
三東会組員	塚本五郎
新田	大塚 将
キャッチパー男	土方 泉
キャッチパー女	鉄人アキ

# 10月29日(土)より 独占ロードショー!

伊勢丹斜め向い・新宿東映会館2F

## 新宿映ホール・2 (351) 3060

上映時間 連日 11:30 1:20 3:10 5:00 6:50

### 特別鑑賞券発売中! 1000円

(当日大人1300円/学生1200円の処)